

2010年(平成22年)9月26日(日)

## 第1回

# 岡崎 家康公検定

## 試験問題 100 問

問題はすべて四者択一です。(1)から(4)まで四つある答えの中から、正しい番号を選んで、その番号を答案用紙にご記入ください。

<記入例>

【102】家康公の長男は、元服してなんと名乗ったでしょうか？

(1) 清康 (2) 信康 (3) 元康 (4) 家光

↓ 答案用紙

同じ番号の  
ところに記入  
してください。

	102	103
	2	



受験番号	お名前

【1】天文<sup>てんぶん</sup>11年(1542年)、家康公<sup>いえやすこう</sup>が生まれたとき、武田信玄<sup>たけだしんげん</sup>21才、上杉謙信<sup>けんしん</sup>12才、織田信長<sup>おだのぶなが</sup>は8才。では豊臣秀吉<sup>とよとみひでよし</sup>はこのとき何才だったでしょうか？

- (1) 25才                      (2) 6才                      (3) 家康公と同じ  
(4) まだ生まれていなかった

【2】家康公が生まれたころ、世界はどのような時代だったでしょうか？

- (1) チングス・ハンがモンゴルを統一<sup>どういつ</sup>した時代  
(2) 大航海時代<sup>だいこうかい</sup>を経てヨーロッパ列強<sup>れつきょう</sup>が世界に進出した時代  
(3) アメリカが独立戦争<sup>どくりつせんそう</sup>を終えた時代  
(4) イギリスで産業革命<sup>さんぎょうかくめい</sup>が始まった時代

【3】家康公が生まれたころ、日本はどのような時代だったでしょうか？

- (1) 下剋上<sup>げこくじょう</sup>の戦国時代  
(2) 天皇<sup>てんのう</sup>を中心に京の都<sup>みやこ</sup>が栄えた時代  
(3) 南北朝<sup>なんぼくちよう</sup>の動乱時代  
(4) 町人文化が花開いた泰平<sup>たいへい</sup>の時代

【4】家康公が生まれた翌年<sup>よくねん</sup>には火縄銃<sup>ひなわじゆう</sup>が、7年後にはキリスト教が日本に伝えられました。これらを日本に伝えた国で、スペインと世界制覇<sup>せかいせいぱ</sup>を競っていた国はどこでしょうか？

- (1) アメリカ      (2) イギリス      (3) ポルトガル      (4) ロシア

【5】家康公が生まれたとき、三河<sup>みかわ</sup>の小国<sup>しょうこく</sup>・松平家<sup>まつだいらけ</sup>が頼っていた大名<sup>だいみょう</sup>はだれでしょうか？

- (1) 足利義昭<sup>あしかがよしあき</sup>      (2) 今川義元<sup>いまがわよしもと</sup>      (3) 織田信秀<sup>おだのぶひで</sup>      (4) 武田信玄<sup>たけだしんげん</sup>

【6】家康公が生まれたとき岡崎城<sup>おかざきじょう</sup>に現れた、岡崎城の守り神<sup>あらわ</sup>ともいわれる空想上の動物で、岡崎城の別名にもなっているものはなんでしょうか。

- (1) 麒麟<sup>きりん</sup>                      (2) 猿<sup>ぼく</sup>                      (3) 鳳凰<sup>ほうおう</sup>                      (4) 竜<sup>りゅう</sup>

【7】寅歳とらとしの寅とらの刻こく（午前4時頃）に家康公いえやすこうが生まれたとき、両親こたからきがんが子宝祈願もろに詣もでた奥三河おくみかわの鳳来寺ほうらいじでは、安置あんちしてあった寅歳とらとしの守り神しん・真達羅大将らたいしょうの像ぞうに異変いへんが起こったと伝わっています。像ぞうに起こった異変いへんとはなんだったのでしょうか？

- (1) 消えてなくなり、家康公いえやすこうが亡なくなったあとに戻もどってきた。
- (2) 一昼夜いちちゅうや、寺てらの中なかを動きまわった。
- (3) 夜よが明あけるまで、うなり声こゑをあげ続つけた。
- (4) 浮うき上がり、岡崎城おかざきじょうまで飛とんでいった。

【8】家康公いえやすこうは、松平初代しょうへいしゅだい・親氏ちかうじから数かずえて何代目の当主たんじょうとして誕生たんじょうしたのでしょうか？

- (1) 4代
- (2) 7代
- (3) 9代
- (4) 15代

【9】家康公いえやすこうの母おだい・於大おだいが、父ひろただ・広忠とつに嫁よめいぐるとき、嫁入り先はんえいの繁栄はんえいを願ねがって於大おだいの父ちち・水野忠政みずのただまさが持もたせたともいわれる「種たね」から作つくられたものはなんのでしょうか？  
(江戸時代には、岡崎おかざきを中心に三河さんかを代表する産業さんぎょうに発展はつぜんしました。)

- (1) 八丁味噌はっちょうみそ
- (2) 紅花べにばな
- (3) 盆栽ぼんさい
- (4) 三河木綿もめん

【10】現在いま、家康公いえやすこうの誕生日たんじょうびには、家康公いえやすこうの生まれ地域こうせい（中心市街地こうせいの康生地区こうせい）でお祝いわらいのイベントが行おこなされていますが、家康公いえやすこうの誕生日たんじょうびはいつでしょうか？

- (1) 1月31日
- (2) 4月17日
- (3) 8月1日
- (4) 12月26日

【11】家康公いえやすこうには、祖父きよやすの清康きよやすや父ひろちゆうの広忠ひろちゆうと同じ幼名ようみょうがつけられましたが、なんとなんという名前なまえだったのでしょうか？

- (1) 犬千代いぬちよ
- (2) 吉法師きちほうし
- (3) 竹千代たけちよ
- (4) 日吉丸ひよしまる

【12】天文13年1544年、家康公いえやすこうが3才さいのとき、母りえん・於大おだいは父ひろちゆう・広忠ひろちゆうに離縁りえんされ、実家じっかの刈谷かりや・水野家みずのに戻もどされましたが、その理由りゆうはなんだったのでしょうか？

- (1) 夫婦ふうふの性格せいかくが合わなかったため
- (2) 広忠ひろちゆうが別の女性けっこんと結婚けっこんすることになったため
- (3) 於大おだいが伝染病でんせんびょうに感染かんせんしたため
- (4) 於大おだいの実家じっかの水野家みずのが、松平家しょうへいの敵てきである織田家みかたの味方あつちになったため

【13】天文16年(1547年)、6才の家康公は今川家に入質ひとじちに送られる途中、ある人物にだまされ、織田家に送られてしまいますが、この人物とはだれでしょうか？

- (1) 三河・刈谷城主の水野信元 (2) 渥美・田原城主の戸田康光  
(3) 遠江・掛川城主の朝比奈泰能 (4) 甲斐の武田信玄

【14】織田家の人質のとき、家康公は重い病びょうき気にかかりましたが、乳母の「お松」の懸命な祈りと看病かんびょうによって命をとりとめました。このときの「お松」の行動を表わしているのはどれでしょうか？

- (1) 織田家に頼んで、自分が織田家で一生ただ働ばたらきする代わりに、名高い医師いしに家康公の治療ちりょうをしてもらった  
(2) 船で京の都まで薬を買いに行き、持ち帰って飲ませた  
(3) 髪を切って尼になり、ひたすら病か気いの快癒かいゆを祈った  
(4) 神仏に自分が身代りになることを誓ちかって絶食ぜっしょくし、家康公が元気に回復するじがいと自害した

【15】天文18年(1549年)、家康公との人質交換のため、織田信長の兄・信広のぶひろが捕らえられた城はどこでしょうか？

- (1) 安祥(安城)城 (2) 岡崎城 (3) 刈谷城 (4) 清洲城

【16】天文18年(1549年)、岡崎に戻った家康公は、今度は今川家の人質として駿府すんぶに送られましたが、駿府で家康公を養育よういくした女性はだれでしょうか？

- (1) 母 於大 (2) 於大の母 源応尼(華陽院)  
(3) 広忠の後妻 真喜姫 (4) 今川義元の妻 定恵院

【17】駿府で家康公の師となって学問や兵法を教えた高僧へいほうで、今川義元の軍師ぐんしでもあった優れた武将すくとはだれでしょうか？

- (1) 太原雪斎 (2) 竹中半兵衛 (3) 蓮如 (4) 山本勘助

【18】天文20年(1551年)正月、人質時代の家康公の腕白わんぱくぶりと豪胆ごうたんぶりを伝える逸話いつわで、多くの年賀の客で賑わう今川館の縁側えんがわから家康公がしたといわれることはなんでしょうか？

- ( 1 ) 堂々<sup>どうどう</sup>と庭<sup>にわ</sup>に向かって立ち小便をした
- ( 2 ) 思い切りジャンプして庭の池に飛び込んだ
- ( 3 ) 庭に隠<sup>かく</sup>れていたイノシシに壺<sup>つぼ</sup>を投げ命中させた
- ( 4 ) 縁側に座っていた客をけり落とした

【19】駿府での人質時代、家康公は安倍川の河原で、東西に分かれて石合戦<sup>かつせん</sup>をする子供たちを見て、どちらが勝つかを予想<sup>よそう</sup>して当てたといわれていますが、なんと予想したでしょうか？

- ( 1 ) 戦<sup>いくさ</sup>は人数の多いほうが勝つ
- ( 2 ) 少人数のほうが団結<sup>だんけつ</sup>して戦うので勝つ
- ( 3 ) 体の大きい子がいる少人数のほうが勝つ
- ( 4 ) 引き分けになる

【20】弘治元年(1555年)、元服<sup>げんぷく</sup>した家康公が名乗<sup>な の</sup>った名前はなんのでしょうか？

- ( 1 ) 元信<sup>もとのぶ</sup>
- ( 2 ) 元康<sup>もとやす</sup>
- ( 3 ) 家康
- ( 4 ) 信康<sup>のぶやす</sup>

【21】弘治3年(1557年)、家康公が結婚<sup>けっこん</sup>した今川義元の姪<sup>めい</sup>はだれでしょうか？

- ( 1 ) 朝日姫<sup>あさひひめ</sup>
- ( 2 ) お梶<sup>かじ</sup>の方<sup>かた</sup>
- ( 3 ) 瀬名姫<sup>せ な ひめ</sup> ( 築山殿<sup>つきやまどの</sup> )
- ( 4 ) 西郷<sup>さいごう</sup>の局<sup>つぼね</sup>

【22】家康公は、結婚した後に名前を変えました。新しい名前はなんのでしょうか？

- ( 1 ) 元信
- ( 2 ) 元康
- ( 3 ) 家康
- ( 4 ) 信康

【23】永禄元年(1558年)、家康公は今川家の武将<sup>ぶしやう</sup>として初陣<sup>ういじん</sup>を果たしますが、攻めたのはどこの城でしょうか？

- ( 1 ) 尾張<sup>おわり</sup>・清洲<sup>きよすじょう</sup>城
- ( 2 ) 三河<sup>てらべ</sup>・寺部<sup>てらべ</sup>城
- ( 3 ) 遠江<sup>ととうみ</sup>・高天神<sup>たかてんじん</sup>城
- ( 4 ) 伊豆<sup>いず</sup>・韮山<sup>にらやま</sup>城

【24】家康公が初陣のときに着用<sup>ちやくよう</sup>したと伝えられる具足<sup>ぐそく</sup> ( 鎧<sup>よろい</sup> 兜<sup>かぶと</sup> ) のレプリカ ( 複製<sup>ふく</sup> 製品<sup>せいひん</sup> ) が岡崎公園内の「三河武士のやかた家康館」に展示<sup>かん</sup>してありますが、その具足は何色だったでしょうか？

- ( 1 ) 赤
- ( 2 ) 白
- ( 3 ) 黒
- ( 4 ) 金

【25】永禄2年(1559年)誕生<sup>たんじょう</sup>の長男に続き、同3年(1560年)家康公に女子が誕生。後に奥平信昌<sup>おくだいらのぶまさ</sup>の正室<sup>せいしつ</sup>(妻)になるこの長女の名前はなんですか？

- (1) 篤姫<sup>あつひめ</sup>      (2) 亀姫<sup>かめひめ</sup>      (3) 千姫<sup>せんひめ</sup>      (4) 督姫<sup>とくひめ</sup>

【26】永禄3年(1560年)今川義元<sup>ひき</sup>は2万5千の大軍を率いて西に向かって出発<sup>せんぱう</sup>。先鋒の家康公には最前線<sup>さいぜんせん</sup>の城に兵糧<sup>ひょうろう</sup>(食料)を運び入れる命令が出されましたが、兵糧入れを成功させたその城とはどこですか？

- (1) 尾張・大高城<sup>おわり おおだか</sup> (2) 尾張・那古野城<sup>なごや</sup> (3) 尾張・鳴海城<sup>なるみ</sup> (4) 三河・岡崎城<sup>みかわ</sup>

【27】桶狭間の合戦の際、家康公は、母・於大の再婚<sup>さいこん</sup>先の尾張・阿久比<sup>あぐい</sup>の館<sup>やかた</sup>を訪ね母との再会を果たしたといわれますが、於大が再婚した武将はだれですか？

- (1) 久松俊勝<sup>ひさまつとしかつ</sup> (2) 前田利家<sup>まえだとしいえ</sup> (3) 松平康元<sup>まつだいらやすもと</sup> (4) 山内一豊<sup>やまうちかずとよ</sup>

【28】桶狭間で今川義元<sup>う</sup>が討たれ、岡崎・大樹寺<sup>だいじゅじ</sup>を目指した家康公は、雨で増水した矢作川<sup>やはぎ</sup>が渡れず、対岸<sup>たいがん</sup>の八剣<sup>やつるぎ</sup>神社に祈ったところ、3頭の動物が現<sup>あらわ</sup>れ、家康公を背に乗せて無事に川を渡らせたという伝説が残ります。この伝説に登場する神の使いの動物はなんですか？

- (1) 牛 (2) 馬<sup>うま</sup> (3) 鹿<sup>しか</sup> (4) 竜<sup>りゅう</sup>

【29】松平家の菩提寺<sup>ぼだいじ</sup>の大樹寺に着いた家康公は先祖<sup>せんぞ</sup>の墓<sup>はか</sup>の前で自害<sup>じがい</sup>しようとしませんが、住職<sup>じゅうしやく</sup>の登誉上人<sup>とうよ しょうにん</sup>から、生きて平和な世を作るよう諭<sup>さと</sup>され、以後、そのことばを旗印<sup>はたじるし</sup>としました。そのことばとはなんですか？

- (1) 厭離穢土 欣求淨土<sup>お(え)んりえど ごんぐじょうど</sup> (2) 天下泰平<sup>てんかたいへい</sup>  
(3) 風林火山<sup>ふうりんかざん</sup> (4) 南無阿弥陀仏<sup>なむあみだぶつ</sup>

【30】大樹寺に逃げ込んだ家康公は織田の兵に囲まれましたが、70人力といわれる祖洞和尚<sup>どうおしょう</sup>らの活躍<sup>かつやく</sup>で敵<sup>てき</sup>を追い払うことができました。このとき祖洞和尚が武器<sup>ぶき</sup>にして使ったものはなんですか？

- (1) 石灯笼<sup>いしどうろう</sup> (2) 鉄のこん棒<sup>てつ ぼう</sup> (3) 門のかんぬき (4) 門のはしご

【31】永禄5年(1562年)、家康公は織田信長の居城きよじょうに行き軍事同盟ぐんじどうめいを結びますが、これをなんといいのでしょうか？

- (1) 岡崎同盟 (2) 清洲同盟きよす (3) 三河同盟 (4) 尾張同盟

【32】永禄6年(1563年)、2度目の改名をして「家康」を名乗りますが、「家」という文字はだれの名前からとったといわれているのでしょうか？

- (1) 公家・歌人の藤原定家ふじわらさだいえから  
(2) 源氏の頭領げんじ とうりょう源義家みなもと よしいえから  
(3) 松平家三代のぶみつ信光の子・守家もりいえから  
(4) 松平の家を康やすんじたいとの思いから

【33】「家康」を名乗るとき、今川義元からもらった一字すを捨てて、今川氏からの完全決別けつべつを示しましたが、捨てた文字はどれでしょうか？

- (1) 今 (2) 川 (3) 義 (4) 元

【34】永禄6年から7年(1563～1564年)にかけて起こった三河一向一揆いっこういっきで、譜代の家臣かしんが分裂して一揆に加わったことは家康公を深く悩ませましたが、一向一揆とはなんのことでしょうか？

- (1) 浄土真宗じょうどしんしゅう 本願寺派ほんがんにしはともいわれる一向宗いっこうしゅうの信者たちによる反乱しんじゃ  
(2) 一向という名の僧侶そうりよが始めた新しい宗教の信者たちによる反乱  
(3) 三河で家康公に敵対する今川方の一向氏という武将てきたいによる反乱  
(4) 一向の地を本拠ほんきよにした松平一族いちぞくの反乱

【35】永禄7年(1564年)、三河一向一揆の兵に追われた家康公は、山中八幡宮やまなかはちまんぐうにある洞窟どうくつに身を隠しましたが、一揆軍が洞窟の前までやってきて洞窟を見つけました。このとき、敵の目の前に洞窟から飛び立とって、中に人はいないと思わせて家康公を救すくったと伝わる鳥はなんのでしょうか？

- (1) こうもり (2) たか (3) はと (4) ふくろう

【36】一向一揆を鎮め、三河を統一した家康公は、永禄8年(1565年)、三河の国を治めるために、後に“家康公のたくみな人材登用ぶり”がたたえられるあるものを設置しました。あるものとはなんですか？

- (1) 伊賀・甲賀お庭番 (2) 三河三奉行 (3) 目安箱 (4) 六波羅探題

【37】永禄9年(1566年)、家康公は姓を松平から徳川に戻しました。この征夷大將軍となる資格のある徳川氏はどの一族ですか？

- (1) 源氏 (2) 平氏 (3) 足利氏 (4) 菅原氏

【38】徳川の姓に復した(戻した)ことに合わせ、家康公が朝廷から任じられた官職はなんですか？

- (1) 征夷大將軍 (2) 少納言 (3) 三河守 (4) 上総介

【39】永禄10年(1567年)、家康公の長男・信康は徳姫と結婚しましたが、徳姫はだれの娘ですか？

- (1) 今川義元 (2) 織田信長 (3) 武田信玄 (4) 水野信元

【40】元龜元年(1570年)、三河・遠江2国の領主となった家康公は、三河・岡崎城から遠江(静岡県西部)に本拠地を移しましたが、それはどこですか？

- (1) 吉田城 (2) 掛川城 (3) 駿府城 (4) 浜松城

【41】元龜元年(1570年)、家康公は遠江に移るにあたり、だれを岡崎城主にしましたか？

- (1) 長男の信康 (2) 石川数正 (3) 本多重次 (4) 酒井忠次

【42】元龜元年(1570年)、家康公が織田信長とともに姉川で戦った相手は、朝倉義景とだれの連合軍だったですか？

- (1) 浅井長政 (2) 上杉謙信 (3) 武田信玄 (4) 松永久秀



【43】栄養価えいようかが高く、日持ちひもちがよく、携帯けいたいにも便利べんりなため、家康公や三河武士たちが兵糧ひょうりょうとして携帯したといわれる岡崎の特産品とはなんですか？

- (1) 淡雪あわゆきとうふ (2) いがまんじゅう (3) かりんとう (4) 八丁味噌はっちょうみそ

【44】元龜3年(1572年)、領内りょうないを通過つうかしようとする武田信玄を追い、三方ヶ原みかたがはらで戦いいどを挑み大敗した家康公は、本城に逃げ帰った後、「しかみ像ぞう」と呼ばれる肖像画しょうざうがを描かせていますが、なんのために描かせたのでしょうか？

- (1) 戦国最強さいきょうの武田信玄と戦った記念にするため  
(2) 自分の短慮たんりょを戒いましめるため  
(3) 自分の苦勞どうめいしやを同盟者の信長に伝えるため  
(4) この絵を燃やすことでいやな思い出を消したかったため

【45】三方ヶ原の戦いで戦死した数十名の家臣たちの墓はかをたてて供養くようした岡崎の寺で、幼い頃の家康公が愛用した文具なども所有する本宿もとじゆくにある寺はどれでしょうか？

- (1) 広忠寺こうちゅう (2) 誓願寺せいがん (3) 大樹寺だいじゆ (4) 法蔵寺ほうぞう

【46】天正3年(1575年)、家康公は岡崎城から長篠城ながしのじょうへ出陣しゅつじんの途中、ある寺で戦勝せんしょう祈願きがんをしましたが、その帰り道、地蔵菩薩じぞうぼさつに呼び止められました。びっくりして振り返ると、ちょうど大杉の陰から刺客かぜが矢しかくを射いようとしていたところで、あやうく命拾いのちひろいをしたという「家康公見返りの大杉」伝説が残るこの岡崎の寺はどこでしょうか？

- (1) 真福寺しんぶく (2) 随念寺ずいねん (3) 天恩寺てんおん (4) 鳳来寺ほうらい

【47】天正3年(1575年)、織田・徳川の連合軍が、長篠の合戦で、ある武器ぶきの三段撃さんだんうちの新戦法しんせんぽうを使ったといわれますが、ある武器とはなんですか？

- (1) 石つぶて (2) 大砲たいほう (3) 火縄銃ひなわじゆう (4) 火矢ひや

【48】長篠の合戦あいての相手たいしょうの大將はだれでしょうか？

- (1) 武田信玄 (2) 上杉謙信うえすぎけんしん (3) 北条氏政ほうじょううじまさ (4) 武田勝頼たけだかつより

【49】天正7年(1579年)家康公は信長から、妻と長男の<sup>しよだん</sup>処断を<sup>めい</sup>命じられました。二人が敵と内通していると疑<sup>うたが</sup>われたためだといわれますが、だれと内通していると疑われたのでしょうか？

- (1) 明智光秀 (2) 足利義昭 (3) 武田勝頼 (4) 毛利輝元

【50】徳川家のため、やむを得ず<sup>せつぷく</sup>切腹したといわれる長男・信康の<sup>くびづか</sup>首塚がある岡崎の<sup>じしや</sup>寺社はどこでしょうか？

- (1) 伊賀八幡宮<sup>い が はちまんぐう</sup> (2) 大樹寺<sup>だいじゆじ</sup> (3) 若宮八幡宮<sup>わかみやはちまんぐう</sup> (4) 八柱神社<sup>やばしらじんじや</sup>

【51】自分が<sup>ぎせい</sup>犠牲になることで息子の<sup>むすこ</sup>信康が<sup>ゆる</sup>許されることを<sup>いの</sup>祈り、命を捨てたといわれる家康公の妻(正室)の首塚がある岡崎の寺社はどこでしょうか？

- (1) 伊賀八幡宮 (2) 大樹寺 (3) 若宮八幡宮 (4) 八柱神社

【52】天正10年(1582年)武田氏を<sup>めつぼう</sup>滅亡させ、家康公は信長より一国を与えられ、<sup>みかわ</sup>三河・<sup>とおとうみ</sup>遠江と合わせて3ヶ国の<sup>だいみょう</sup>大名となりました。与えられた新しい<sup>りょうち</sup>領地はどこでしょうか？

- (1) 伊豆<sup>いす</sup> (2) 甲斐<sup>かい</sup> (3) 駿河<sup>するが</sup> (4) 美濃<sup>みの</sup>

【53】天正10年(1582年)京都で<sup>ほんのうじ</sup>本能寺の変がおこり、信長が<sup>へん</sup>明智光秀に殺されたとき、信長に招かれ<sup>まね</sup>上方(関西)を<sup>かみがた</sup>旅行中だった家康公はどこにいたでしょうか？

- (1) 京都 (2) 神戸<sup>こうべ</sup> (3) 高野山<sup>こうやさん</sup> (4) 堺<sup>さかい</sup>

【54】本能寺の変を知った家康公の<sup>いっこう</sup>一行が、<sup>いそ</sup>急ぎ岡崎に<sup>かえ</sup>帰ったコースはどれでしょうか？

- (1) 伊賀の山中を越え、伊勢からは船を使った  
(2) 大坂から<sup>おおさか</sup>船で<sup>ふね</sup>三河に帰った  
(3) 紀伊半島を<sup>きい</sup>横断して<sup>おうだん</sup>名古屋に出た  
(4) 東海道を<sup>とうかいどう</sup>陸路で<sup>りくる</sup>戻った<sup>もど</sup>

【55】本能寺の変のあと、家康公は信長の領地（もとは武田の領地）だった2ヶ国を自分の領地にして5ヶ国の大名となりますが、その2ヶ国とは、信濃（長野県）とどこでしょうか？

- (1) 伊勢（三重県）      (2) 甲斐（山梨県）      (3) 河内（大阪府）  
(4) 能登（石川県）

【56】天正12年（1584年）、信長の二男・信雄と家康公の連合軍が、信長の後継者を狙う秀吉と戦った戦はどれでしょうか？

- (1) 小牧・長久手の戦い      (2) 賤ヶ岳の戦い  
(3) 関ヶ原の戦い      (4) 長篠の戦い

【57】天正13年（1585年）、家康公の家老で岡崎城代の重臣・石川数正が、突然、秀吉のもとに出て行きました。秀吉に徳川の軍法を知られてしまうため、家康公はこれまでの軍法を大きく変えましたが、どの戦国武将の軍法をみならって取り入れたのでしょうか？

- (1) 今川義元      (2) 上杉謙信      (3) 織田信長      (4) 武田信玄

【58】天正14年（1586年）、家康公を臣下にしたい秀吉は、自分の妹を家康公の妻にしました。家康公のふたりめの正室（妻）となった秀吉の妹の名前はなんでしょうか？

- (1) 朝日      (2) 茶々      (3) ねね      (4) まつ

【59】妹を嫁に出しても大坂城に来て臣下の礼をとらない家康公に対し、秀吉は妹の見舞いと称して母・大政所を人質同然に家康公のもとに送りました。家康公夫婦が大政所と対面した城はどこだったのでしょうか？

- (1) 大坂城      (2) 岡崎城      (3) 岐阜城      (4) 浜松城

【60】家康公は大政所と対面したあと大坂城に行き、秀吉に臣下の礼をとりました。そのとき家康公は諸大名の前で、「私が来たからには、殿下（秀吉）には2度と戦をさせません。私が代わって日本を平定します。」という意味で、秀吉が身につけていた“あるもの”を所望した（欲しいと言った）というエピソードがありますが、なにを所望したのでしょうか？

- (1) 刀 (2) 兜 (3) 陣羽織 (4) 鉢巻き

【61】同じく天正14年（1586年）家康公は遠江からどこに居城を移したのでしょうか？

- (1) 江戸城 (2) 小田原城 (3) 駿府城 (4) 松本城

【62】天正18年（1590年）家康公が先鋒を務めた、秀吉の最後の平定戦ともいえる小田原攻めの相手はだれでしょうか？

- (1) 上杉景勝 (2) 伊達政宗 (3) 北条氏政 (4) 最上義光

【63】小田原攻めの最中に、家康公は秀吉から国替えを命じられましたが、新しい家康公の領国はどこでしょうか？

- (1) 京・大坂 (2) 関東6ヶ国 (3) 信越4ヶ国 (4) 東北5ヶ国

【64】同じ年の8月1日、家康公は江戸城に入城。後に幕府はこの日を特別な日として定め祝い事を行いましたが、この日はなんと呼ばれたのでしょうか？

- (1) 夏至 (2) 処暑 (3) 大安 (4) 八朔

【65】家康公の国替えにより岡崎城主となった豊臣の重臣で、岡崎のまちづくりを積極的に進め、二十七曲りのもとをつくり、現在、岡崎中心部にある籠田公園の前に石像が建つ武将はだれでしょうか？

- (1) 石田三成 (2) 田中吉政 (3) 福島正則 (4) 本多康重

【66】文禄元年（1592年）、秀吉が起こした朝鮮出兵（文禄の役）で、家康公はどこまで出陣したでしょうか？

- (1) 朝鮮の平壤（ピョンヤン） (2) 朝鮮の漢城（ソウル）  
(3) 朝鮮の釜山（プサン） (4) 肥前・名護屋（佐賀県唐津市）

【67】文禄2年（1593年）、家康公は文禄の役に出陣中と、江戸に帰ってからの2度にわたり、高名な儒学者を招き「貞観政要（唐の皇帝・太宗の言行録）」を講じさせました。この儒学者はだれでしょうか？

- (1) 茶屋清延 (2) 天海 (3) 藤原惺窩 (4) 本阿弥光悦

【68】文禄3年（1594年）、家康公は伏見に滞在中、著名な剣豪から「新陰流」の奥義を伝授されますが、それはだれでしょうか？

- (1) 伊藤一刀斎 (2) 佐々木小次郎 (3) 宮本武蔵 (4) 柳生石舟斎

【69】秀吉が、家康公をはじめ諸大名を集めて「宝自慢」をしたときのこと、家康公が自分の「宝」だと答えたものはなんだったでしょうか？

- (1) 自分のためには命を惜しまない家臣 (2) 初花の茶器  
(3) 備前長船の名刀 (4) 南蛮渡来の壺

【70】文禄4年（1595年）、家康公は、秀吉の側室・淀殿の妹を三男・秀忠の嫁に迎えました。2011年のNHK大河ドラマ「姫たちの戦国」の主人公でもあるこの女性はだれでしょうか？

- (1) お江（小督） (2) お吟 (3) お初 (4) 和宮

【71】武家政治を学ぶため、家康公が手元に置いて愛読していた本で、鎌倉幕府が制作した歴史書はなんでしょうか？

- (1) 吾妻鏡 (2) 古事記 (3) 解体新書 (4) 大日本史

【72】豊臣政権を運営した家康公や、前田利家、毛利輝元など有力な5人の大名のことをなんと呼ぶでしょうか？

- (1) 五摂家 (2) 五大臣 (3) 五大老 (4) 五中老

【73】慶長3年(1598年)第2次朝鮮出兵中に秀吉が亡くなり、家康公は、朝鮮で戦っていた兵をどうしたのでしょうか？

- (1) 急いで総攻撃をさせた (2) すぐに引きあげさせた  
(3) そのまま守らせた (4) 武将たちの自由にさせた

【74】秀吉の死後、五奉行の筆頭格で、家康公と対立したのはだれでしょうか？

- (1) 石田三成 (2) 加藤清正 (3) 島津義弘 (4) 豊臣秀頼

【75】慶長4年(1599年)伏見城にいた家康公は、戦乱の世を平和に変えるために教育の必要性を思い、あることを始めました。あることとはなんのでしょうか？

- (1) 武器の回収 (2) 中国との貿易 (3) 本の出版 (4) 小判の鑄造

【76】慶長5年(1600年)オランダ船リーフデ号が漂着。航海長のウィリアム・アダムス、航海士のヤン・ヨーステンと大坂城で会った家康公は、彼らをどうしたのでしょうか？

- (1) 外交の相談役として、江戸に住ませた  
(2) すぐに日本から追放した  
(3) 大坂で処刑した  
(4) キリスト教徒なので長崎の出島に閉じ込めた

【77】慶長5年(1600年)家康公の政治に反対し命令を聞かない上杉景勝を征伐するため、家康公らが向かったのはどこでしょうか？

- (1) 会津 (2) 越後 (3) 薩摩 (4) 土佐

【78】福島正則、池田輝政らの豊臣大名たちが、家康公に味方して共に石田三成らと戦うことを決定した評定（会議）を、その地名からなんといいましょうか？

- (1) 小田原評定 (2) 小山評定 (3) 箱根評定 (4) 伏見評定

【79】関ヶ原の合戦の最中、どちらに味方するかははっきりしない西軍の小早川秀秋に、家康公はあることをして東軍に寝返りをさせました。あることとはなんですか？

- (1) 味方になるよう家康公が怒鳴った  
(2) 小早川軍の陣地に鉄砲を撃ちかけた  
(3) 徳川四天王の本多忠勝を説得に行かせた  
(4) 小早川秀秋の家族を人質にした

【80】関ヶ原の合戦が終わって5日後、家康公と三男の秀忠は大津にいましたが、家康公は秀忠を怒っていて会いませんでした。家康公の怒っていた理由はなんですか？

- (1) 関ヶ原の決戦に秀忠が間に合わなかったから  
(2) 秀忠の軍だけが西軍に負けていたから  
(3) 見てただけで戦わなかったから  
(4) 東軍を裏切って西軍に味方したから

【81】関ヶ原の合戦で勝利した家康公は、味方した大名に領地を分け与えますが、家康公がたくさん領地を与えたのはどのような大名だったのでしょうか？

- (1) 徳川家や松平家の一族 (2) 三河武士 (3) 関東の大名  
(4) 豊臣家の家臣だったのに家康公に味方した大名

【82】慶長6年（1601年）江戸と京・大坂を結ぶ東海道の整備を始めた家康公は、各宿場に何頭かの馬を置くように決めました。この制度をなんといいましょうか？

- (1) 貨幣制度 (2) 鎖国制度 (3) 伝馬制度 (4) 身分制度

【83】慶長8年(1603年)、家康公は後陽成天皇より、幕府を開くことのできる役職に任じられました。この役職はなんですか？

- (1) 征夷大將軍 (2) 摂政 (3) 関白 (4) 太政大臣

【84】慶長8年(1603年)、家康公が幕府を開いた場所はどこですか？

- (1) 江戸 (2) 岡崎 (3) 京 (4) 伏見

【85】慶長8年(1603年)、徳川と豊臣の争いがないことを願い、豊臣秀吉との約束を守り、家康公は孫娘を豊臣秀頼に嫁がせました。この孫娘(徳川秀忠の長女)の名前はなんというのでしょうか？

- (1) 五郎八姫 (2) 亀姫 (3) 千姫 (4) 千代姫

【86】慶長8年(1603年)、後の徳川ご三家のひとつ、水戸徳川家の初代・頼房が生まれましたが、長男の信康からこの頼房まで、家康公には何人の男の子がいたのでしょうか？

- (1) 3人 (2) 9人 (3) 11人 (4) 16人

【87】慶長10年(1605年)、家康公は三男の秀忠を2代將軍にしましたが、2年で將軍を子供に譲った一番の理由はなんだったのでしょうか？

- (1) 天下の行方を示し、天下を安定させるため  
(2) 高齡で將軍の仕事ができないため  
(3) 病気で思うように動けなくなったため  
(4) 隠居して早く好きなことをしたかったため

【88】家康公は將軍を辞した(やめた)あと、なんと呼ばれるようになったのでしょうか？

- (1) 大御所 (2) 黄門 (3) 上皇 (4) 太閤



【89】戦の訓練や領内の見回りなどを兼ね、家康公が好んで行っていたことはなんでしょうか？

- (1) 歌会 (2) 将棋 (3) 鷹狩り (4) 茶会

【90】慶長12年(1607年)、家康公の平和友好政策が実り、朝鮮との国交が回復。第1回の朝鮮通信使が日本を訪れました。江戸時代、12回の通信使が日本にきましたが、岡崎藩が、この朝鮮通信使を接待した場所はどこだったのでしょうか？

- (1) 岡崎城天守閣 (2) 藩の迎賓館の御馳走屋敷  
(3) 松平家の菩提寺の大樹寺 (4) 岡崎宿の本陣

【91】関ヶ原の合戦から14年後の慶長19年(1614年)と20年(1615年)に行われた大坂の陣で、家康公ら幕府軍に敗れ自害した大坂城の城主はだれでしょうか？

- (1) 石田三成 (2) 片桐且元 (3) 真田幸村 (4) 豊臣秀頼

【92】慶長20年(1615年)大坂夏の陣が終わると、慶長という元号が、家康公の意向により「平和の始まり」を意味する元号に変わりました。その元号とはなんのでしょうか？

- (1) 享保 (2) 元和 (3) 平和 (4) 泰平

【93】同じ年、家康公が秀忠の名前で出した法律で、大名や旗本など武士が守るべきことを定めたものはどれでしょうか？

- (1) 禁中並公家諸法度 (2) 御成敗式目  
(3) 生類憐みの令 (4) 武家諸法度

【94】1616年4月17日、家康公死去。亡くなった場所はどこでしょうか？

- (1) 江戸城 (2) 岡崎城 (3) 駿府城 (4) 伏見城

【95】遺言ゆいごんにより、家康公いえこうこうの遺体いたいが葬ほうむられたのはどこでしょうか？

- ( 1 ) 江戸湾わん      ( 2 ) 岡崎城      ( 3 ) 久能山くのうさん      ( 4 ) 富士山ふじさん

【96】家康公の遺言で、岡崎の大樹寺おおかきのおおじゅじに置くように命めいじられ、以来れきだい、歴代将軍しやうぐんの身長しんちやうと同じ高さのものが祀まつられるようになったものはなんでしょうか？

- ( 1 ) 位牌いはい      ( 2 ) 全身の絵ぜんしんえ      ( 3 ) 墓はか      ( 4 ) 木像もくぞう

【97】一周忌いっしゅうきが終わった後、家康公いえこうこうは朝廷ちやうていから東照大権現とうしやうだいこんげんの神号しんごうを贈おくられ、日光にっこうに神社しんじが建てられましたが、家康公いえこうこうを祀まつる神社しんじのことをなんと呼ぶでしょうか？

- ( 1 ) 権現宮こんげんぐう      ( 2 ) 天満宮てんまんぐう      ( 3 ) 東照宮とうしやうぐう      ( 4 ) 八幡宮はちまんぐう

【98】信長しんぢやう、秀吉しゆぢきと家康公いえこうこうの三英傑さんえいけつを比較ひかくし、その三人さんじん三様さんやうの生きざまを“ほととぎす”で表わした川柳せんりゅうがあります。家康公いえこうこうを表すのはどれでしょうか？

- ( 1 ) 鳴かぬなら、殺ころしてしまえ、ほととぎす  
( 2 ) 鳴かぬなら、鳴かせてみよう、ほととぎす  
( 3 ) 鳴かぬなら、鳴くまで待まとう、ほととぎす  
( 4 ) 鳴かぬなら、笑わらってみせよ、ほととぎす

【99】家康公いえこうこうの遺言ゆいごんの中に表された有名なことばは、次のうちどれでしょうか？

- ( 1 ) 難波なにわのことも、夢ゆめのまた夢  
( 2 ) 天下てんかは一人の天下てんかにあらず、天下てんかは天下てんかの天下てんかなり  
( 3 ) 天下布武てんかふぶ  
( 4 ) 天下てんかは一日いちにちにして成ならず

【100】家康公いえこうこうの遺訓いুকんは、「人の一生いしやうは重荷おもにを負おうて遠き道とほしぢを行くがごとし」で始まりませんが、それに続くことばはなんでしょうか。

- ( 1 ) 急いそぐべからず      ( 2 ) 怒おこるべからず  
( 3 ) なまけるべからず      ( 4 ) 休やすむべからず

以上 おつかれさまでした。